

藩翰譜畧系

七
八之
下上

和書門			
二	七	六	九
八	九	八	號
冊	架	函	類

內閣文庫			
二	七	六	九
八	九	八	號
冊	架	函	類

內閣文庫	
番號	和 27698
冊數	8 (5)
函號	155 52



藩翰譜畧系七

伊	加	藤	森
達	川	堂	利
日	國	利	利
出			



明治十三年庚申

伊達

藤原山蔭

中納言
大藏冠録三代孫

安親

正三位参議

定住

後四位上筑前肥前伊賀大和等守

季孝

皇后宮少進

光隆

待賢門院非藏人

宗村

中村常陸入道念西

中正

後四位上横津守

為盛

後四位下越前守

實宗

後四位下常陸守
能登肥前等守

家周

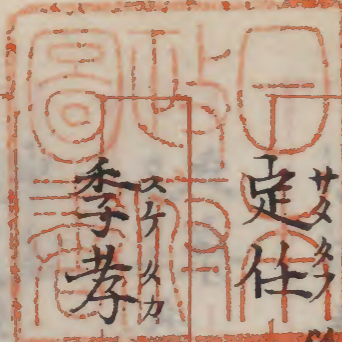
大舍人

朝宗

高松院非藏人

義廣

栗野次郎藏人大夫



政依 子 藏人太師

基宗 子 孫太師 彈正少弼

宗遠 子 彈正少弼

氏宗 子 兵部少輔

成宗 子 兵部少輔

植宗 子 左京大夫

魁宗 子 左京大夫

宗綱 子 小太師

行宗 子 宮内少輔

政宗 子 大膳大夫 歌人

持宗 子 大膳大夫

尚宗 子 大膳大夫

晴宗 子 左京大夫

宗實 子 左近大夫 早世

宗時 子 從五位下 左京亮 兼應三年九月廿九日卒三十九歲

宗利 子

大膳大夫 從五位下 明曆三年十一月廿七日 從四位下

寬文三年十一月廿日 侍從兼遠江守

宗純

宮内少輔 從五位下 明曆元年正月叙任

女子二人

秀宗 子 稱伊達

文祿四年侍從兼遠江守 從五位下 時六歲 寬永二年八月九日 從四位下

明曆三年七月廿日 同四年六月廿日卒 八歲

政宗 子カ子

陸奥守 少將
台徳院殿賜御家號
嫡流子孫称松平
元和元年閏六月九日
参議
寛永三年八月九日權
中納言
同十三年五月廿日卒
七十二歳

忠宗 子カ子

元和三年七月三日從四位下侍從兼陸奥守
寛永二年八月十九日
少將
明曆四年七月十日卒
六十二歳

光宗 子カ子

從四位下侍從兼執前守
正保二年九月八日卒十九歳

綱宗 子カ子

承應三年十一月廿二日
從四位下侍從兼美作守

綱基 子カ子

寛文九年十一月九日
從四位下少將兼陸奥守

宗良 子カ子

右京亮從五位下
万治三年十一月叙任

宗永 子カ子

右京亮從五位下
寛文十年十一月叙任
後任讃岐守
延宝六年三月廿日卒

女子立花飛騨守鑑虎妻

宗勝 子カ子

兵部少輔從五位下
正保二年十二月叙任
寛文十一年四月三日
配流土佐國

宗興 子カ子

從五位下市正
寛文三年十二月叙任
同十一年四月三日卒
配流豊前國

建頭 子カ子

右京亮從五位下

細川

清和天皇

貞純親王

經基王

源滿仲

頼信 河内守

頼義 伊豫守

義家 八幡太郎 鎮守府將軍 陸奥守

義國 式部大輔

義康 且利新判官

義清 矢田判官代

義實 廣澤判官代

義季 細川二郎 細川祖

俊氏 八郎

公頼 八郎

頼有 右馬頭

持有 刑部少輔

常有 刑部少輔 播磨守

元有 刑部少輔

藤孝 兵部大輔 判髮号玄旨又幽齋 三任法印
實三洲伊賀守入道宗薫子元當養為子

頼春 讃岐守 刑部大輔

頼長 刑部大輔

教春 刑部大輔

政有 刑部少輔

元當 播磨守

興元 頭之郎
玄蕃頭從五位下

興昌 玄蕃頭從五位下

興隆 豊前守從五位下

興英 玄蕃

妙菴

孝之 中務少輔判髮号休齋宗也

女子四人

吉田左兵衛卜部兼治妻
木下右衛門大夫延俊妻
長岡伊賀守妻
長岡与九郎妻

女子

若狭守利重妻

泰昭

加藤権之助

頼貞 八郎

顯氏 從四位下 陸奥守 小侍所

業氏 從四位下 陸奥守 兵部大輔

滿経 從四位下 陸奥守 引付

持經 モナツ子 中務大輔 陸奥守

尚經 ナツ子 中務大輔 陸奥守

時經 トキツ子 三郎四郎 中務大輔

成經 ナリツ子 中務大輔 陸奥守

尹經 タツ子 中務大輔 陸奥守
後子陸

輝經 テラツ子 中務大輔 御供衆

忠興 タケヲキ 與一郎

實兵部大輔藤孝嫡子依公方光源院殿仰為輝經之嗣
天正十三年七月十日

忠利 タケトシ 内記

慶長十年四月廿侍從
從五位下
元和五年十二月從四位
下兼越中守

某 長正五郎

忠隆 与一郎 剃髮号林無

光尚 ミツナガ

寬永十一年七月廿三日
從五位下侍從兼肥
後守 天保三年十月
廿六日卒三十一歲

綱利 ツナシ 六九

兼應二年十月十日
從五位下侍從兼中守

侍從

慶長八年二月十日言參議

從四位下

元和五年十二月剃髮号

三齋宗主

正保二年十二月日卒歲

八十二

寬永三年八月十九日

左少將

同十八年三月十七日卒

五十六歲

女子二人

松平下總守忠弘室
太政卿門内府御室

利重 トシシゲ

從五位下若狹守
万治三年十月叙任

立孝 タツタカ

中務少輔從五位下
正保二年閏五月十日卒

行孝 ユキタカ 帶刀

從五位下丹後守
兼應二年三月廿六日
叙任

興孝 キキタカ 刑部少輔

女子四人

前野出羽守妻
稻葉民部女補妻
長正佐渡守妻
鳥丸中納言光賢御簾中

加藤

藤原某

三之丞 三河國住人

嘉明

ヨシアキラ 孫六

後五位下左馬介
元和元年後四位下
寛永三年八月九日侍從
同年九月三日卒年九歳

明成

アキナリ

後五位下式部少輔
寛永十一年七月十六日侍從
同年九月遁世

明重

アキヒデ 監物

明友

アキトモ

後五位下内藏助

女子

青山大膳虎幸刺妻

明英

アキヒコ 孫太郎

某 溝口帶刀

溝口伊豆守隆養子

明利 アキトシ

民部少輔後五位下

某

弥三郎早世

某

平八郎早世

某

三左衛門

女子

池田河内守長政妻

某

源左衛門

女子二人

佐木源兵衛妻
智達尼

藤堂

藤原高虎 タカトラ

源助虎高男

与右衛門

後五位下 佐渡守慶長十三年

和泉守

元和元年閏六月十九日從四位下
寛永二年十一月十九日侍從
寛永三年八月九日左少將
同七年十月五日卒七十五歳

高吉 タカヨシ

宮内少輔後五位下

實丹羽五郎左衛門長秀三男

高次 タカツク

元和二年正月十九日大學頭後五位下

寛永十一年七月廿二日從四位下侍從

寛文六年十二月廿六日左少將

同九年九月廿九日致仕

延宝四年土月十六日卒

高久 タカヒサ

兼應二年十二月廿日從四位下和泉守

寛文九年三月廿五日侍從

女子

安藤式部少輔重之妻

女子 京極刑部少輔高知妻

高通タカミチ

後位下佐渡守 嘉三年十月廿七日叙任

高貴タカカミ

庄三郎

森

源泰政

左衛門尉 美濃國蓮臺住人
先祖出自義家朝臣六男森六郎義隆子

可成

三左衛門
元龜元年九月十九日 於坂本戰死四十八歲

可政

從五位下對馬守 初為信長家人廿四歲時為豐臣家黃母衣衆
關原之戰屬 東照宮其後叙爵六十四歲而卒

女子

長田又左衛門妻

女子 関小十郎右衛門妻

某 傳兵衛 信長家人元龜元年四月於越前國手筒山戦死十九歳

長一 ナカカツ 勝藏 武藏守 天正十一年四月於尾刈長湫戦死

女子 宗極若狭守勝俊室

蘭丸 天正十年六月二日信長御幸時戦死

坊丸 恭蘭丸戦死十七歳

力丸 恭蘭丸戦死十六歳

重政 シゲ

大膳亮廿六歳早世

関氏部成次妻

女子四人

池田備中守長士妻
榊左衛門督志純妻
森左近妻

虎松丸

九歳早世

忠廣 タカヒロ

元和三年侍從從下兼右近大夫寛永三年八月十五日從四位下
寛永十年八月廿二日卒三十二歳

女子

本多能登守忠義室

忠政 タカマサ

子之助

羽柴右近大夫侍從
慶長六年美作守
寛永三年八月十九日左
中将

長継

實関氏部藤原政次男
寛永十年十月廿六日
從四位下内記
同十八年十月侍從

忠継

美應三年十月廿六日
從四位下美作守
延享二年月日卒三十八歳

長成

右衛門

同十一年月日卒六十
五歳

延二年四月廿日致仕

長武 ナカタケ

伯耆守後五位下

延二年十一月廿七日

後四位下侍從

女子

掌兵部輔昌明室

長俊 ナカトシ

後五位下對馬守

女子二人

鳥居左京亮忠常室
松平久之丞某妻

長直 ナカナヲ

帶刀

後五位下和泉守

藤原

長政 ナカマサ

稱閑

但馬守後五位下

父同長繼

寛文六年五月廿九日

備前守

長原 ナカモト

文藏

女子 刺主計某妻

毛利

平城天皇

阿保親王

大枝本主

大江音人 オホエノヲトシト 参議

千古 チフル 式部権大輔

維時 コレトキ 中納言

重光 シゲミツ 式部大輔

匡衡 チカヒラ 文章博士 式部大輔

舉周 タカチカ 文章博士 式部大輔

成衡 ナリヒラ 大學頭

匡房 チカサ 權中納言 号江師

維順 コレノリ 式部大輔

維光 コレミツ 式部大輔

廣元 ヒロモト 内膳守 陸奥守 兵庫頭 大膳大夫

秀光 ヒテミツ 左近將監 安藝守 始称毛利 李元

經光 ツ子ミツ 左近將監

時親 トキチカ 修理亮

貞親 サタチカ 左近將監

親茂 チカシテ 陸奥守

師親 モロチカ 右馬頭
後元春

廣房 ヒロフサ 中務大輔

光房 ミツフサ 備中守
右馬頭

照元 ヒロモト 備中守

豐元 トヨモト 治部少輔

弘元 ヒロモト 備中守
治部大輔

興元 ヨキモト 備中守

幸松丸 八歳早世

元就 モトナリ 右馬頭 陸奥守
大膳大夫
元龜元年六月卒七十五歳

元細 モトツナ 少輔二郎

元範 モトノリ 兵部丞 号教名

就勝 ナリカツ 上総介

隆元 タカモト 少輔太郎 備中守
大膳大夫
永祿五年八月四日卒

禰元 ネモト 右衛門督 右馬頭
中納言後三位 同五年九月入道号宗瑞 寛永二年四月廿七日卒七十三歳

天正十三年後四位下 十六年参議 慶長二年三月十日

秀元 ヒデモト 宮松丸 称毛利

光廣 ミツヒロ

綱元 ツナモト 右京後四位下甲斐守
寛文四年十二月廿日叙任

実元清男
文祿元年正位下侍後甲斐守

寛永十一年後位下侍後和泉守
承應三年七月二日卒三十八歳

女子 稻葉出羽守正喬妻

同三年参議正三位
慶安三年閏十月三日卒五十二歳

元知 モトチ 刑部少輔後五位下

元武 モトタケ 伊予守後五位下

女子三人

元平 モトヒラ 権三郎

秀就 子ナリ 藤七郎

慶長五年十月廿日侍從從五位下兼長門守

同十年二月廿日從四位下

寬永三年八月九日少將

慶安四年正月廿日卒五十七歲

台德院殿賜御家弟嫡流子孫

稱松平

女子 吉川春濃守廣正妻

就隆 林毛利

從五位下日向守

女子二人 松平越後守光長室 鷹司殿廉中

綱廣 子台 子代然

承應三年十二月十日

從四位下侍從大膳大夫

女子 尾戶隆家妻

元春 吉川 少輔三郎 治部少輔 駿河守

天正十四年十月十日卒

隆景 小早川 又四郎 左衛門佐 中納言從三位

慶長二年六月十日薨六十二歲

元長 十カ 早世

元氏 字 繁澤宮内

女子 益田玄蕃妻

廣家 台イ工 藏人

廣正 子 又二郎 美濃守

就頼 彦三郎 右京進

秀秋 金吾中納言 寶水下肥後守家定男

元景 十カ 飛騨守

某 忠三郎

某 七兵衛

女子 上原妻

元秋 少輔十郎 領厄子家

元清 四郎 治部大輔 伊与守 秀元父

元政 少輔七郎

元康 少輔七郎 大膳大夫

元綱 四郎 俊秀包 久留目侍從

元宣 紀伊守

元俱 主膳正 山城守

元信 左馬頭 伊賀守

左門

元任 志摩守

山三郎

元隨 帶刀

大學

又八郎 石見

藩翰譜畧系八之上

德津

鍋島

蜂須賀

上
秋

大野

大野

源頼朝
源頼朝

源頼朝
ヨリトモ
征夷大將軍正二位大納言兼右大臣將

忠久
タカヒサ
島津宗兵衛尉豊後守
母比企判官妹

忠義
タカヨシ
三郎兵衛尉 修理亮 大隅守

久綱
ヒサツナ
初久時下野守豊後守 修理亮

忠宗
タカムネ
下野守

貞久 サタヒサ 上総守

氏久 ウヂサ 三郎左衛門尉 兼前守 修理亮 陸奥守

元久 モト 陸奥守

久豊 ヒサトヨ 修理亮 陸奥守

元久身

忠國 タケクニ 初貫久 ツラヒサ 修理亮 陸奥守

友久 トモ 又七郎 相模守 右馬頭

立久 タテ 修理亮 陸奥守 繼忠國後

忠昌 タケマサ 修理亮 陸奥守

忠治 タケシ 又二郎

忠隆 タケタカ 又六郎 忠治身

勝久 カチ 修理大夫 忠治身

貴久 タカ 三郎左衛門尉 修理大夫 陸奥守 佐五位下

鴻津中兵祖

忠幸 タケサキ 三郎左衛門尉 相模守

忠良 タケノリ 三郎左衛門尉 相模守

萬千代丸 早世

忠清 タキキヨ 又四郎

女子二人

忠平 タカヒラ 又四郎 兵庫頭

久直 ヒサナヲ 又十郎 北條式部大輔

忠弘 タカヒロ 市正

忠共 タカトモ 町田出雲守

忠紀 タカキ 越後守 玄蕃頭

重永 シゲナガ 根吉七郎

久雄 ヒサオ 安藝守 初中務大夫 忠栄養子 後繼 右馬頭 忠興家

政由 マサユキ 鎌田又七郎

忠良 タカヨシ 伊集院右衛門佐

忠隆 タカタカ 桂又十郎

久立 ヒサタツ 伊集院源助

貞昭 サダアキラ 伊勢守 人正

久尚 ヒサナガ 樺山又九郎

女子十六人

島津彈正妻
種子島左近妻
島津大和守妻
敷根統前守妻
肝付半兵衛妻
島津中務大夫妻
八人早世
三人不詳

以久 手ビサ 右馬頭

女子

彰久 アキヒサ

重将 シゲマサ 入米院養子

忠興 チカキ

右馬頭

久雄 チカオ

万寿丸

久英 チカヒコ

又四郎

久壽 チカス

又吉郎

萬吉丸

右馬頭從五位下

兼應三年十月但馬守

寛文三年三月百奉世一歳

從五位下飛騨守

式部少輔從五位下
実鴻津主膳男

鶴十代丸

鎚島

藤原秀郷

鎮守府將軍

千常 チツ子

鎮守府將軍

文倍 フシナガ

鎮守府將軍

文行 フシユキ

左衛門督

公光 キニミン

相模守 龍造寺祖

脩行 ナカユキ

近江守 号進藤

行景 ユキカケ

左衛門尉

景親 カケチカ

島田駿河權守

景頼 ヨリ

武者所 近藤武者

頼平 ヨリヒラ

武藤大藏丞

資頼 スケ

筑前守 鎮西奉行

資能 スケヨシ 豊前守

経資 ツネスケ 豊前守

盛経 モリツネ 筑前守

貞経 サタツネ 筑後守

頼尚 ヨリノブ 少貳 筑後守

三男 頼澄 スミ 筑後守

冬覽 フユミ 太宰少貳

貞頼 サタヨリ 太宰少貳

資嗣 スケツグ 太宰少貳

直資 ナチスケ 少貳 肥前守

頼興 ヨリノブキ 少貳

教頼 ノリヨリ 太宰大貳

政資 マサスケ 少貳
政資孫冬尚時少貳家繼

経直 ツネナチ

経房 ツネフサ

茂尚 シゲノブ 筑島平右衛門尉

清房 キヨフサ 孫郎 駿河守

信房 ノブフサ 豊前守

直茂 ナチシゲ 彦法師九 初左衛門大夫信生

後飛騨守 天正十二年加賀守 政直茂

元和四年六月三日卒八十三歳

家良 イサヨシ

神代二弟後大炊助
神代長良養以為嗣

勝茂 カツシゲ

信濃守後五位下
寛永三年八月廿日後四位下侍從
明曆二年二月九日致仕
同年三月廿日卒七十八歳

忠直 タケナリ

肥前守後五位下
早世

光茂 ミツシゲ

後四位下丹後守
大猷院殿賜御家號
嫡流子孫称松平
明曆三年三月廿九日受
祖父勝茂之讓
同四年二月廿日侍從

經茂 ツネシゲ

後四位下信濃守

直澄 ナカスミイロ

甲斐守後五位下
寛文六年二月廿日致仕
剃髮号義峯

直之 ナカユキ

横津守後五位下

女子四人

赤大炊頭利重室
水野半人平忠直室
伊東出雲守祐実室
三浦壹岐守直次室

茂継 シゲツキ

刑部少輔後五位下
承應三年三月二十日
和泉守

宣隆 ノブタカ

備前守後五位下

女子二人

上杉彈正野定勝室
松平主殿頭忠房室

元茂 モトシゲ

紀伊守後五位下
承應三年十月十一日卒
五十三歳

直能 ナカヨシ

加賀守後五位下

直頼 ナカヨリ

紀伊守後五位下

蜂須賀

源正利

小六藏人尾張國海東郡蜂須賀人

正勝

小六彦右衛門尉 修理大夫從五位下
天正十四年五月廿日卒六十一歲

家政

小六阿波守從五位下 蓬菴
寛永十五年十月廿日卒八十一歲

至鎮

長門守從五位下文祿二年叙爵于時八歲 慶長九年從四位下阿波守
台徳院殿賜御家跡嫡流子孫称松平 元和六年四月廿六日卒三十五歲

正慶

彦右衛門 早世

女子四人

前田左近妻
池田出羽守由之妻
井伊掃部頭直孝室
松平加賀守忠光室

忠英

十松

元和元年九月十日從下
阿波守

寬永三年八月九日侍從
慶安三年四月卒歲
四十二

女子二人

松平富大輔忠雄室
水野出雲守成貞妻

光隆

十松

慶安元年十月廿二日
從四位下因幡守

承應元年正月廿日侍從
兼阿波守
寬文六年九月廿七日卒
三十七歲

康映

周防守從五位下
松平周防守康重養子

經通

十松

寬文十年正月十八日
從四位下侍從阿波守

延寶六年七月晦日卒
二十三歲

經矩

十松 熊太郎

從四位下於路守
延寶六年正月廿日叙仕

實式部某子

女子丹羽若狹守長次室

至照

蜂須賀

從五位下飛騨守
慶安四年八月十六日叙仕

某式部

某隼人

上杉

平義景

長尾左衛門尉

鎌倉權五郎景政九代孫長尾二郎景弘十二代後胤云

景春

左衛門尉入道以玄

政景

越後守

女子二人

三郎景虎室
畠山入庵妻

為景

六郎信濃守

為重

新二郎

景連

彈正忠
謙忠入道

景孝

新二郎

女子

長尾越後守政景妻景勝之母

藤原輝虎

初長尾平三景虎

天文廿年山内上杉憲政養以為子讓管領職自是称彈正太弼

從四位下藤原政虎廿三歲而入道号謙信又改輝虎天正五年三月三日卒四十九歲

六郎

永祿九年病死

景虎

三郎実北條左京大夫氏康七男
天正七年三月為景勝被討自殺

景勝

喜平次

定勝

綱勝

始憲好

綱憲

始景倫

實長尾政景男

天正十六年五月正四位

下彈正次男

文祿三年正月五日從

三位 十月廿八日中納言

元和元年三月廿日卒歲

六十九

元和九年二月十日從

四位下侍從彈正次男

寛永三年八月十九日左

少將

正保二年九月十日卒

兼應二年十一月十一日

從四位下侍從播磨守

寛文四年閏五月七日

卒七十七歲

延享三年十月廿三日

從四位下侍從彈正次男

実吉良上野女義英

嫡子

女子

吉良上野女義英室

藩翰譜畧系八之下

佐竹

岩城

秋田

相馬

丹羽長政

立花

新庄

土方

佐竹

源義光

新羅三郎 後五位下刑部丞
左兵衛尉

義業

進士判官

昌義

佐竹冠者 下野守

隆義

大田太郎 常陸少

秀義

佐竹別當 後五位下常陸少

義繁

後五位下常陸少 右兵衛尉

長義

常陸二郎

義胤

常陸孫二郎

行義

常陸彦二郎

貞義

二郎 遠江守 上総少

義敦

右馬權頭

義信

左近大夫將監 右馬助

義盛 右馬頭

義久 右衛門佐 右京大夫
實上杉安房守憲定二男

義俊 伊予守

義治 左衛門佐

義輝 從四位上少將 右京大夫

義篤 從四位上右馬權頭
大膳大夫

義昭 右京大夫

義重 常陸守 六十六歲
慶長七年四月十九日卒

義宣

義隆

義處

義苗

右京大夫
天正十八年十二月廿三日
從四位下侍從
寬永三年八月十九日中將
同十年正月廿五日卒六十
四歲

實岩城貞隆男
修理大夫從四位下
寬永三年八月十九日侍
從
寬文六年十二月廿日
少將

承應三年十二月廿六日
右京大夫從四位下
寬文九年十二月廿五日
侍從

某

盛重 蘆名盛隆養子

同十年十二月廿日卒
六十四歲

義堅 東政義養子

義興 式部少輔從五位下
寬文五年九月廿一日
卒三十三歲

貞隆 岩城親隆養子

義知 從五位下左近將監

宣義 多賀谷養子

義繼 彦三郎

岩城

桓武天皇

葛原親王

高見王

高望王 タカモトノ 初賜平姓

平良望 ヨシモトノ 後國香 鎮守府將軍

貞盛 サタモリ 鎮守府將軍

繁盛 シゲノ 陸奥權守

安忠 ヤスタカ 權守

則道 ノリミチ 岩城次郎 岩城祖

忠清 タケキヨ 次郎

清隆 キヨタカ 次郎

師隆 シロタカ 太郎

隆行 タカユキ 次郎

隆平 タカヘイ 次郎

隆守 タカモリ 次郎

義衡 次郎

照衡 次郎

朝義 次郎

常朝 次郎

清胤 次郎

隆忠 下總守

親隆 下總守

常隆 下總守

由隆 民部大輔

重隆 左京大夫

親隆 左京大夫

常隆 左京大夫

貞隆 忠二郎

宣隆

重隆 左京

實佐竹常陸次義重男

實貞隆弟但馬守後五位下
明曆二年七月廿五日發任
八月五日

伊予守後五位下

秋田

安倍慶季

秋田太郎 城次 應永三十年六月十六日死
先祖出自安大夫頼時二男 厨河二郎貞信云

盛季 秋田太郎 城次
文安二年四月十日死

惟季 太郎 城次
寛正三年八月五日死

昭季

延徳二年五月廿八日死

定季

天文二年九月二日死

友季 天文十三年六月廿九日死十六歳

愛季

天正十五年九月一日死

實季 サ子スエ

東太郎 慶長十年九月三日

後五位下秋田城外

俊季 トシスエ

東太郎

盛季

輝季 テルスエ

後五位下伊豆守

元和元年正月廿六日叙任

同五年二月河内守

慶安元年正月三日卒

五十二歳

後五位下安房守

寛永十八年十一月廿

九日叙任

延宝四年正月十三日

卒

信濃守後五位下

寛文二年十二月廿

七日叙任

季信 スエノフ

後五位下隼人正

慶安四年九月卒一歳

季久 スエノフ

後五位下淡路守

万治元年閏三月廿七日叙任

熊之丞 右衛門

相馬

桓武天皇

葛原親王 カツラヒラ

高見王 タカミ

高望王 タカモト

始賜平姓 上總介後五位下

平良將 ヨシマサ

鎮守府將軍 後五位下

將門 サカト

相馬小二郎 自称平親王

忠頼 タケヨリ

村岡二郎 平良文子繼將門後子

忠常 タケツネ

前上總介 赤千葉

常將 ツネマサ

千葉小二郎 後五位下

千葉上總介祖

常兼 ツカ 十葉大夫
後五位下

常重 シテ 十葉大夫
後五位下

常胤 タテ 十葉大夫

師常 モツ子 相馬二郎
此後子孫稱相馬

義胤 ヨシ

此間世次不詳

胤綱 タテ

胤村 ムラ 五郎左衛門尉
永仁年中人

胤氏 ウヂ 二郎左衛門尉

師胤 モツ子 五郎左衛門尉

師弼 モツ子 彦二郎
胤

重胤 シテ 孫五郎

親胤 チカ 出羽推守
觀應年中人

胤頼 ヨリ 讃岐守

重胤 治部少輔

高胤 タカ 出羽守

盛胤 モリ 大膳大夫

顯胤 アキ 讃岐守

盛胤 彈正大弼
慶長六年卒七十三歲

義胤 ヨシ 長門守
号外天
寛永十年十月十日卒八十八歲

利胤 トシ 大膳亮從五位下
寛永二年九月十日卒
四十五歲

忠胤 タテ 初勝胤 式部
實土屋民部少輔利直男
長門守從五位下
延享元年十一月二日卒三十七歲

貞胤 虎千代

延宝七年十月廿日卒

出羽守後五位下

昌胤 子多子 米女

弹正少弼後五位下
继兄貞胤家

丹羽

藤原長政

修理亮 尾刈兒五人也先祖出自武列兒玉黨後云
本平氏有故称藤氏

長忠 将監 早世

童名万千代 五郎左衛門尉

長秀

天正十三年四月十六日卒 五十一歳

秀重 九兵衛長重家人 元和元年於大坂戦死

女子二人

柘原伊賀守妻
大津傳十郎妻

長重 ナカシケ 童名鍋

五郎左衛門

加賀守從五位下

天正十四年從五位下侍從

文祿四年恭議從三位

寬永十四年閏三月四日卒七

歲

光重 ミツシケ

左京亮從五位下

寬永十九年十一月廿日從四位下

万治元年閏十一月廿七日侍從

長次 ナカツク

從五位下若狹守

女子二人

酒井下總守忠長妻
淺野内匠頭長直妻

女子三人

松平伊予守經政室
松平出雲守義昌室
西尾隱岐守忠成妻

長正 ナカマサ

備中守早世

高吉 タカヨシ

藤堂宮内少輔

初為大納言秀長養子後大閤秀吉使藤堂佐渡守高虎養子

直政 ナヲ

蜂屋越後守 早世 蜂屋出羽守養子

長俊

長門守早世

長次 ナカツク

左近

某

三左衛門

女子五人

赤田隼人正妻

栗原越中守妻

稻葉彦六妻

吉山修理亮妻

古田大膳大夫妻

立花

源能直

童名一法師 豊前守從五位下
称大友 鎮西奉行

齊院次官中原親能子実源頼朝卿男
母大友四郎大夫藤原経家女云

親季

利根二郎 大炊助
号出雲路殿

頼泰

初泰直丹後守 出羽守 兵庫頭
大炊助 式部大夫從五位下

親時

左近將監 藏人
因幡守

貞親

新藏人 左近大夫 將監
從四位下 出羽守

貞宗

孫太郎 左衛門 左近將監
近江守

貞載

三郎 左近將監 在筑前國称立花
立花祖

氏恭 ウチヤス
孫太郎 式部丞 在豊後国称大友
大友祖

宗匡 ウチヤサ
左近将監 三河守

親直 ウチナヲ
左近将監 山城守

親政 ウチヤシ
左近将監 丹後守

宗政 ウチヤシ
左近将監 因幡守

鑑光 ミタツ
左近将監 兵庫頭

鑑俊 ミタツ
左近将監 但馬守

親善 ウチヨシ
左近将監 山城守

鑑連 ミタツ
左近将監 伯耆守
丹後守 道雪入道

宗茂 ウチシケ
初統虎

忠茂 ウチシケ
十熊丸

直茂 ウチシケ
改鑑虎

實高橋主膳兵衛紹運男
後五位下左近将監
飛騨守
天正十五年從四位下侍從
寛永五年冬入道号立齋
同十九年十月廿五日卒
七十六

實高橋主膳正直次男
元和八年十月廿日從五位下左近将監
寛永十八年正月元日從四位下
明曆三年十月廿日侍從
万治二年十月廿日飛騨守
寛文四年閏五月廿日入道号好雪
延享三年九月十九日卒六十三歳

貞晟 彈正

ナチツシ 一云藤氏
直次

後五位下主膳正
高橋主膳正入道紹運二
男継父後称高橋其後
蒙台徳院殿仰政称
立花云
慶長十八年卒

タ子ツシ
種次

後五位下主膳正

タ子ナカ
種長

後五位下和泉守
万治三年正月歿

系脱一人
タ子アキラ
種明

後五位下主膳正

新庄

藤原直寛

与三 江州坂田郡新庄住人

直昌

藏人

直頼

駿河守後五位下 富内卿法印慶長十七年三月十九日卒七十五歳

直忠

刑部兵衛

直齊

直定 ナヲサタ

越前守後五位下
元和四年四月廿日卒
九十七歳

直好 ヨシ

越前守後五位下
寛文二年七月廿日
卒六十四歳

直常 ツネ

新三郎
早世

直矩 リ

藏人 民部
延宝四年四月晦日早世家絶

直綱 ツナ

右近

直次 ツグ

内匠

直明 アキラ

左門

秀信 ヒデノブ

堀内幡守
堀石見守養子

直方 ナヲカタ

左衛門

直房 ナヲフサ

養作守後五位下

直長 ナカ

宮内 後五位下長門守

直時 トキ

八十郎
一大夫
後五位下隱岐守

直智 チ

主殿

直之

某

土方

源某

彦三郎 尾張國住人 弘治元年於美濃國戰死廿一歲
先祖出自大和守頼親朝臣七代孫土方孫太郎秀治云

雄久

彦三郎

勤兵衛 河内守
慶長十三年十月十日
卒五十六歲

雄紙

彦三郎

後五位下丹後守
寛永十三年三月致仕

雄高

勝五郎

水二助
後五位下丹後守

豊雄

備中守後五位下
市正
實立圓男

立圓

依病菴居

女子

永井佐渡守妻

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]



十六

雄連

掃部頭後五位下
寛永五年十一月廿九日
卒三十七歳

雄政

内膳早世

雄則

外記早世

雄次

河内守後五位下

女子

那須養濃守資重妻

女子

九鬼式部補隆季妻

雄直

監物

山城守後五位下

某

氏部

女子

水野兵部少輔妻

